



～みんなが幸せな学校づくり～

久米小だより

令和7年度

4月号



「みんなが幸せな学校へ ～地域そのものが学校～」

久米小学校長

今年は比較的長く人々の目を楽しませてくれた桜ですが、久米小学校も美しい桜の花に彩られて、令和7年度がスタートしました。

子ども達はそれぞれ新しい学年に進級し、だれもが不安の中にもやる気と希望をもちながら、一人一人違った形の思いを膨らませて始業式を迎えたことでしょう。

そんな子ども達の期待に応えられるよう、今年度も温かく、そしてお互いのよさを認め合える学校をめざして、教職員一同で頑張っていこうと張り切っております。

さて、今年度の「チャレンジ目標」は、何と子ども達が考えました。昨年度から運営委員会の子供達が中心となって、1年生から6年生まで全ての学級から出てきたアイデアを基にまとめていきました。話し合いを重ねた結果、決定した目標が次の3つです。

「徳」みんな幸せ（大切に使う、ふわふわ言葉、あいさつ）

「体」みんな仲良く元気に（よく食べよく遊ぶ、ろうかは静かに、相手のことを受け止める）

「知」みんなで成長、やる時はやる（読書、場と時間を考える、進んで学ぶ）

このように、子ども達が「自ら考える」という行為そのものが大切であり、自ら考えることを繰り返していけば、やがて「自立」や「自律」のできる大人へと成長するはずです。

さらに、学校の校舎という枠に留まらず、久米ならではの「学習田」や「くめみん」等、地域の「学び場」を活用させていただきながら、生涯学習につながる真の「学び」が積み重ねられるように、地域の皆様とともに子ども達の成長に携わっていただければと考えています。

そして、子ども達、お家や園の皆様、地域の方々、教職員等、久米小に関わる全ての人々が幸せを感じられるような学校になるよう、私たちは精一杯努力してまいります。どうぞご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。